

SUN サンライト LIGHT

秋号

VOL.
16

発行日 平成7年9月

発行所 筑波学院会館

所在地 茨城県稲敷郡高崎町若菜500

電話 0298-76-3881



今年の夏も連日30度を超す猛暑が続きました。梅雨のうちには長雨と低温による稲作への障害が心配されたり、信越方面の豪雨災害が起き、早い梅雨明けが望まれましたが、流石に立秋を過ぎても寂えない暑さに涼風が待ち望まれました。この号をお届けする頃には過ごし易い気候になっていくことと思います。また、今年の夏は政治的にも話題の多い夏でした。参議院選挙が行われ、低投票率に国民の政治離れが一層鮮明になり、連立与党の退潮と新進党や共産党の躍進が目を見せました。続く内閣改造でもすっきりとしないうちに余り変わり映えのない内容では政治に対する興味が薄れるのも無理からぬことでしょう。早く政治が正しいリーダーシップを取り、景気回復や震災復興など山積みの問題解決を果たすよう願って止みません。

経済では円高に若干の修正が見られ、90円台後半まで回復しましたが、コスモ信組の倒産という大きな問題が表面化、パブル崩壊後の不況の厳しさが再確認されました。この方面でも、政治や行政の対応の仕方に不安を感じる方も多いのではないのでしょうか。行政と言えば「都市博」中止を決めた、青島都知事のお詫び外遊には日頃の知事発言に矛盾を感じました。テレビの映像からは観光旅行のようなシーンが流されたり、豪華ホテルのスイートルームといったことなどが報道されていました。確かに東京都の財政規模はフランスと同じ位ですから、国家元首並の待遇は当然かもしれませんが、青島知事の庶民感覚の一端がうかがえたような気がします。

今夏の話題は戦後50年という節目を迎えたことだと思えます。広島、長崎の被爆50年のうえ、中国の核実験やフランスの南太平洋での核実験再開宣言、アメリカの原爆展など核に関する注目度が高まり、戦争や核問題がいつもの夏より身近に感じられました。戦争の話題となるといつもアジア諸国に対する謝罪、慰安婦問題などがでてきます。国会決議や時の総理の謝罪発言も必要かもしれませんが、正しい歴史教育を行うことの方がもっと重要なのではないのでしょうか。受験の中心科目が英語、数学に偏り歴史を選択しない生徒もいると聞いています。また、義務教育の中でも歴史の授業は四月の新学期に先史時代から始まると翌年の終業時には明治時代で終わり残りは自習といったことも聞かれます。受験用の暗記だけでなく、自国の正しい歴史教育、特に近代、現代史の教育が望まれます。

戦後50年ということで今回は「サンライト」らしからぬ話が多くなりましたがご容赦下さい。

世相が厳しく不安定な今日こそ、家族の暖かさが大切になります。お盆やお彼岸のお墓参りが家族の絆を一層深くいたします。お彼岸のお墓参りにご来園下さることを心よりお待ちしております。